

響音 K O E

Himeji Central Hospital
地域連携だより



Toward a new half century, 新たな50年に向けて、

当院は令和2年が開設50周年になります。当院の前身は、昭和33年4月に開院した精神科の病院です。飾磨区三宅の地にある姫路中央病院は昭和45年の開設で、今年が50年目となります。本年9月に50周年記念の会を企画していましたが、姫路市長の清元先生を始めとして、多くの先生方から参加の御返事をいただいておりますが、コロナ禍のため延期とさせていただきます。

当院の設立時は道路の整備ができておらず、田んぼの中にこつ然と病院が出現した状態でした。それでも、赴任された先生方の奮闘努力で診療が行われ、腹部の外科と、脳外科の病院として認知していただく事ができました。そして地域の方々が当院で治療を受け、感謝される事も今まで多くありました。医療自体も右肩上がり発展していく事が出来た時代だったと思いますが、何よりも必要な医療を地域の皆様にお届けする事が出来たので発展があったのだと思います。

開院時と現在では、医療を取り巻く状況は変わっています。診療報酬はマイナス改定が決められています。働き方改革による勤務時間制限、地域包括ケアの実践、地域医療計画の中での当院の立ち位置など、考えないといけない事は山積みです。

私は王道はない、と思っています。病院は医療を粛々と継続しておこなっていく事がミッションです。しかし、旧態依然とした提供ではなく時代の変化への対応が必要です。医療以外のいろいろなオプションを取り揃えるのではなく、良質な医療を適切なタイミングで提供して、地域の皆様にご利用いただく事が結果として当院を発展させていく事に繋がると信じています。そのためには今のニーズが何か、そして当院でそれについて何ができるのかを判断し、自分自身を変化させていく事が大切です。こういった機能を身につけて、「今あなたに必要な病院へ」を実践していきたいと思っています。そして来年は創立51周年、新たな50年を踏み出す年となります。どうか、皆様と一緒に歩んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



内科副部長 着任しました

笠原 明宣
Kasahara Akinobu

専門医
日本内科学会総合内科専門医



7月1日から内科で勤務しています笠原です。昭和61年に岡山大学医学部を卒業、神戸西市民で1年間研修、2年目を鳥取市立病院で研修、その後、常勤医となりテニス・ゴルフ・スキー・ヨット・ウインドサーフィンとスポーツライフを満喫しながら6年半を鳥取で過ごしました。

平成6年4月に姫路聖マリア病院に移りました。姫路に来てからは、ほとんどテニス三昧。スマホで「テニス・寿命」とググってみてください。テニスをしている人は、運動しない人に比べて約9.7年も寿命が延びるとのことです。

仕事も少しはやっていました。上記救急病院で長年内科救急疾患全般を担当してきましたが、通常の外来診療では、糖尿病診療、消化器、特に肝疾患の診療を得意としています。出身の大学医局が呼吸器内科であったため、呼吸器診療にも力を入れています。元スモーカーとして、喫煙患者さんには特に親近感を抱いています。喫煙患者さんの生命予後の改善に何らかのお手伝いができたらと考えています。一般内科の担当範囲は広く、以下の日本の学会に所属しています。内科学会・消化器病学会・肝臓学会・消化器内視鏡学会・呼吸器学会・循環器学会・脳卒中学会・老年医学会。

見た目よりは優しいので怖がらずに受診してください。お待ちしております。

事務部長 着任しました

6月1日より姫路中央病院事務部長として着任いたしました吉田明史（よしだあきふみ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この場をお借りしまして、自己紹介として自身のことをお話しさせていただきます。神戸市に生まれ、高校卒業後には大学進学のため関東で一人暮らしをしていました。理工系の授業が好きなことから大学では建築工学を学び、昭和61年に建築施工管理と不動産取引の会社に就職しました。東京の新宿にある会社です。

時はバブル前夜。就職から2年ほどが経った頃に空前のバブル時代が始まりました。不動産業界に身を置いていましたので、その狂騒ぶりは日々目の当たりにしていました。仕事の忙しさは半端なく、休みがほとんどない中、朝5時に家を出て23時に帰宅するという「24時間働けますか」を地でいくような生活をしていました。

しかしご存じのようにバブルは崩壊し、6年ほど身を置いていた不動産業界全体がどうにもならない状態に陥り、自身の身の振り方を本気で考えなければならぬタイミングになりました。

ふとした繋がりから、自分にとっては全く未知の業界である医療業界への転職となり、初めての姫路の地で病院勤務をスタートしました。見聞きすること全てが理解できず、周囲の方々に教を請いながらのヨチヨチ歩きの事務員でした。その後、総務、人事、設備管理、医療事務、患者送迎など病院での様々な事務系の仕事を経験し、また、いくつかの病院で勤務するご縁を頂き、気が付くとこの業界で28年が経っていました。

同じ地域で長く仕事をしてきたこともあり、他の医療機関様・介護事業所様をはじめ、お取引頂く業者の方に顔なじみが多くでき、姫路中央病院で勤務を開始した際にも様々な方からお声かけを頂戴しました。あらためて、人と人とのつながりの大切さを強く感じ、引き続きご指導を仰ぎながら仕事を続けることができると考えています。

吉田 明史

Yoshida Akihumi



今般、姫路中央病院にご縁をいただき、50歳代の半ばを過ぎて着任させていただくこととなりました。

ここ姫路市は10年前の2010年にすでに人口のピークを過ぎています。総人口が減少する中で、65歳以上の人口は年々増加し、回復期や慢性期の病床ニーズが高まる中、今後は新たな県立病院開設によって地域の急性期医療の在り方も変革を余儀なくされます。

自身としましては、広い視野を持って今後の変化に柔軟に対応することを心掛け、当院の方向性についてしっかりと考え、様々な面で改善を進めていければと考えています。表立って患者様と接する職種ではありませんが、連携いただく医療機関様や介護事業所様、お取引いただく各業者様、そして何よりもこの病院を選んでいただく患者様とご家族様にとって少しでもお力になれるように誠心誠意尽力する所存です。

お気づきの点などございましたらぜひともお気軽にお声かけ下さい。

どうぞよろしくお願いいたします。

紹介と専門領域及び着任にあたっての抱負

私は2020年3月31日までは鳥取大学医学部という白い巨塔の中で34年間研究職・教育職として生存してきました。作戦参謀として医学生に臨床図上演習を教え、臨床図上演習では100%勝利を納めてきました。同年4月1日に姫路中央病院に着任してからは前線の一兵卒として臨床実戦の中で一生懸命戦っています。私はかつて教育者として作戦参謀上、数多くの認定医・指導医資格をもっていますが、実戦応用は一度もなかったのです。しかし、姫路中央病院において真にこれらが武器となるのです。今後は神経疾患を中核とした内科を診療致します。当該診療に際しましては、患者様及び家族様ファーストをモットーと致します。患者様及び家族様のニーズを踏まえた医療に取り組み、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い医療について適切に対応することを第一の使命と致します。

所属学会関連の認定資格

医学博士、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、全日本病院協会認定総合医、日本専門医機構認定総合診療専門医特任指導医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本医師会認定産業医、厚生省認定認知症サポート医、日本病理学会功労会員、日本神経病理学会神経病理認定医・指導医

加藤 信介 Kato Shinsuke

神経内科



郷司 克己

Goji Katsumi

健診センター



専門領域 代謝内分泌

専門医 日本小児科学会 専門医
日本内分泌学会 専門医

趣味 テレビ鑑賞 ドライブ

各種健康診断や人間ドックを介して、皆さまの健康増進を支援するとともに、疾病の早期発見、早期治療を目指して努力してまいります。皆さまとのコミュニケーションを大切に、丁寧でわかりやすい説明を心がけています。微力ながら、少しでも皆さまのお役に立てばと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

認知症疾患医療センターでは、認知症に関する知識の向上を図るため、研修会等を開催しています。当院では、兵庫県立姫路循環器病センター、高岡病院とともに、認知症に関わる方々に向けた研修会を実施しています。本年度は、『認知症と医療連携』をテーマに研修会を開催します。

今年度は、コロナウイルスによる感染予防のため第1回の研修は、ZOOMによるWeb研修を行いました。急遽の変更ではありましたが、たくさんの施設にご参加いただきました。第1回のアンケート結果を参考に、第2回、第3回の研修会も、ZOOMによるWeb研修とさせていただきます。

認知症の知識の普及、啓発のため、また、地域で日々認知症に対応されている方々と顔の見える関係が構築できる研修会となるよう努めてまいります。

保健・医療・福祉にかかわる多くの方々のご参加をお待ちしております。

令和2年度 認知症疾患医療センター研修会 テーマ 『認知症と医療連携』

第2回 令和2年10月9日(金) 18:30~20:00
「地域とともに考える家族指導、家族看護」
医療法人 公仁会 姫路中央病院
認知症看護認定看護師 稲田 ゆかり

第3回 令和3年1月15日(金) 18:30~20:00
「相談事例について」
山陽地域包括支援センター
認知症担当職員 橋本 高行
飾磨西地域包括支援センター
ケアマネージャー 田部 多真紀